

(保存版)



大阪市立姫里小学校

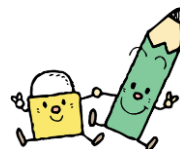
1. 学校と連携して家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし～だと、どうなるのだろう」「なぜ～そうなのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会ってもくじけないでねばり強く積極的にチャレンジしようとする力が備わります。

家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。

家庭学習充実のために、この冊子を保存し十分に活用してほしいと思います。私たち教職員はそのお手伝いをします。



2. 家庭を「学び」の環境に

すすんで学ぼうとする力は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感から、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。

学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

「すすんで学ぶ力」をつけるために・・・

家庭が心がけること

- ◇ 生活リズムを整え、決まった場所と時間で、**学習に集中できる環境を！**
- ◇ がんばりを認め、励まし対話のある**温かいふれあいを！**

学校が心がけること

- ◇ 基礎的・基本的な学力をつけ、学び方を教え、**主体性を育てる学習指導を！**
- ◇ 子どものよさを生かした**家庭学習の提案を！**

※ 家庭(保護者)と学校(教師)とが、家庭学習の習慣化をめざして協力し合うことが子どもの心を耕し、「学ぶ力」を育てます。

※ 子どもの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

3. 家庭学習って なあに？

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

◎宿題…毎日のように学校(学級)から出す課題です。主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎・基本的な学力を身につけることをめざします。

◎自学(自主学習)…自分で課題を見つけ、追求する力が育ちます。思考力や表現力など、社会人として必要な力が身につきます。

<例>

国語 ……漢字、意味調べ、視写、日記、音読・読み聞かせ、テストでまちがえた漢字を書いて覚え直す。

算数 ……計算練習、問題作り、実際に測って調べる、テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。大事なことをノートにまとめる。

家庭・体育・図工 ……学習したことを家庭でも試してみる。

英語 ……学校で習った簡単な会話文をつかってみる。

※ その他、市販のドリルや問題集、テレビの教育番組や英語番組の視聴、学習者用端末を使った学習などに取り組んでみるのもいいでしょう。



4. 家庭学習でどんな力が身につくの？

基礎学力が確実に身につくだけでなく、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」、見えない学力(「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で身につけていきます。社会人として必要な力でもあります。

5. 家庭学習で困ったら？

この手引きに、発達段階に合わせた参考例をのせています。取り組んだら、結果や考えをまとめるなどして家族や学校の先生に見てもらいましょう。相談するときにも役立ちます。

まず、できることから取り組んでみましょう。

家庭学習の3つのポイント

- ① テレビを消して、学習に集中する。
- ② きれいな机の上で取り組む。
- ③ よい姿勢で取り組む。

1・2年生

めあて：基本的な学習習慣を
身につける

学習時間のめやすは…
15～30分(15×学年)
(低学年)



ポイント1	基本的な生活の習慣を身につける！ 「早寝、早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「机の上を整とんする」「テレビやゲームの時間を守る」などの基本的な生活習慣を身につけることが、これからの学習の土台となります。
ポイント2	愛情のこもったコミュニケーションを！ 小学校1・2年生の家庭学習には、家族の手助けが欠かせません。その際、「やったね！」「よくできたね！」などのほめ言葉がすばらしい意欲をうみだします。 学習習慣定着のためには、愛情あるコミュニケーションで、ねばり強く働きかけていくことが大切です。
ポイント3	家庭に学びの環境を！ 大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。 例えば、子どもにあった本を周りにおく、読み聞かせをする、などは非常に効果的です。

か ていがくしゅう ないよう ほうほう 家庭学 習 の内容や方法

宿題(しゅくだい)

- ◆さいごまでやりおえることが大切で
す。
- ◆こまったときは、おうちの人(ひと)にそうだ
んしてみましょう。

自学(じがく)

- ◆すきな本(ほん)を、たくさんよみましょう。
- ◆楽しかったこと、うれしかったことを
日記(にっき)に書(か)きましょう。

国語

- 楽しみながら大きな声で音読(おんどく)できるようにしましょう。
- 「、」や「。」に気(き)をつけて、すらすら読めるように練習(れんしゅう)しましょう。
- 書きじゅんや文字(もじ)の形(かたち)に気(き)をつけて書きましょう。
- 正しい姿勢(しせい)で、ていねいに書きましょう。
- できごとを文(ぶん)で書けるようにしましょう。

算数

- たしざんやひきざんが、正(ただ)しくできるようにしましょう。
- 2年生(ねんせい)は、九九(くく)がすらすらできるようにしましょう。
- まちがった問題(もんだい)は、もう一度(いちど)やり直(なお)しましょう。



チャレンジアップ ～できたらすごいよ！～

- 本(ほん)を讀む。
- ひらがな、カタカナ、漢字(かんじ)の練習(れんしゅう)をする。
- 教科書(きょうかしょ)を写す。
- 作文(さくぶん)を書(か)く。
- 日記(にっき)を書(か)く。
- 詩(し)を書(か)いたり覚(おぼ)えたりする。
- ドリルなどをする。
- 問題(もんだい)をとく。
- 問題(もんだい)をつく。
- 定規(じょうぎ)を使う練習(れんしゅう)をする。
- 生き物(いのちもの)を観察(かんさつ)する。
- 辞典(じてん)や図鑑(ずかん)で調(しら)べる。



3・4年生

めあて：自ら学習に向かう習慣を
身につける

学習時間のめやすは…

40～50分(10+10×学年)

(中学年)



ポイント1	<p>自分でできることは自分で！</p> <p>小学校3、4年生は好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気をおこさせるうえでとても重要です。</p>
ポイント2	<p>規則正しい生活の再確認と見直しを！</p> <p>時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自律心や学習への集中力を高めることにつながっていきます。特に、テレビやゲームなどの時間を家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。</p>
ポイント3	<p>意欲を引きだす言葉かけを！</p> <p>学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友だちや兄弟・姉妹と比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要となります。</p>

かていがくしゅう ないよう ほうほう 家庭学習の内容や方法

宿題(しゅくだい)

◆漢字や計算などは、必ず毎日ていねいにしましょう。

自学(じがく)

◆資料集や地図帳、辞典などをつかった調べ学習にも挑戦してみましょう。

国語

【音読】(声を出して読みましょう)

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
(・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように)

【漢字の練習】

- 新しく習った漢字や覚えていない漢字を練習しましょう。
- 漢字のへんやつくり、筆順に気をつけて練習しましょう。
- 習った漢字を使って熟語づくりや文づくりをしてみましょう。

【読む】

- 好きな本や他の教科書も読んでみましょう。

【日記】

- 一日の中で楽しかったことや心に残ったことを日記に書いてみましょう。

【意味調べ】

- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。



算数

【教科書やドリルの問題】

- その日に勉強したところの問題をといたら、丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。
- 三角定規やコンパス(3年)、分度器(4年)などを使った作図の練習をしてみましょう。

【プリントやテストの問題】

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といていきましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

その他の教科

【社会・理科】

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。
- 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典、インターネットなどで調べてみましょう。
- 社会科で勉強する地域社会の文化や産業について調べたり、理科で学習する自然にふれる体験をしたりするのもいいでしょう。

【その他】

- 家にある問題集をするのもいいですね。
- 音楽のリコーダーでならった曲を練習しましょう。
- ニュースや新聞記事を読んで、感想や意見を書いてみましょう。



5・6年生

めあて：予定を立てて、自力で学習を進める

学習時間のめやすは…

60～70分(10+10×学年)

(高学年)



ポイント1	<p>予定を立て、計画的な学習を！</p> <p>高学年として学校での役割が増え、委員会活動の仕事や打合せがあり、放課後が慌しくなります。</p> <p>充実した日々を過ごすため、その日の予定を立て、見通しを持って学習しましょう。必ず、学習する時間帯を決めましょう。</p>
ポイント2	<p>今一度、基本的な生活習慣の見直しを！</p> <p>生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身につきます。「起きる時刻」「食事の時刻」「寝る時刻」などを決めてリズムのよい生活をしましょう。テレビやゲーム、コンピューターなどの時間がだらだらと長くなり過ぎていないかも再確認しましょう。</p>
ポイント3	<p>目標に向かって努力することの大切さを！</p> <p>将来の夢や希望、勉強する目的や学校での様子、失敗談などを家庭で話し合い、目標を持って努力することの大切さについて考えてみましょう。自分がどれだけがんばったのかが大切な点です。</p> <p>伝記(偉人伝)などを読んで、人の生き方に関心を持つのもいいです。</p>

かていがくしゅう ないよう ほうほう 家庭学習の内容や方法

宿題

◆「読む」「書く」「計算する」といった基礎的な学力を身につけるために、くり返しの練習が大切です。

自学

◆自分で課題を見つけて、追求する学習にも挑戦してみましょう。

国語

- 朝読み、夕読み…教科書を音読し、音読カードにサインをしましょう。
- 詩は俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。それが終わったら、その漢字を使って短文を作りましょう。
- 視写はとても大切です。教科書や新聞の記事など、字数を決めて視写に挑戦してみましょう。

算数

- 計算プリント、計算ドリルなどを使って、くり返し練習をしましょう。
- 自分で答え合わせをし、間違った問題はもう一度チャレンジしてみましょう。

その他の教科

- 社会や理科など、どんどん自分から調べ学習をしていき、知識を身につけましょう。
- 国語辞典をはじめ、いろいろな辞典(事典)をどんどん活用しよう。
- 演奏できる楽器が一つでもあると生活が豊かになります。
- 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践してみましょう。
- また、家事の分担を考え、できることをやってみましょう。

